

囲碁界最高位タイトル戦

棋聖戦

挑戦手合 七番勝負

開催地募集要項

主催：読売新聞社 公益財団法人日本棋院 一般財団法人関西棋院

読売新聞社と日本棋院、関西棋院は、囲碁界最高位のタイトル戦[棋聖戦]七番勝負の対局開催地を全国から募ります。

[棋聖戦]は、1977 年に創設された国内最高位の囲碁公式戦です。女流、アマチュアも交えて 1 年間に及ぶ予選を勝ち抜いた挑戦者が、タイトルホルダーの棋聖に挑む七番勝負は、各局持ち時間 8 時間 2 日制の対局を 7 局行い 4 勝した者がタイトルを獲得する厳しい勝負で、囲碁ファンはもとより、全国的にも大きな注目を集めます。

この七番勝負の対局開催地を招致いただくことにより、地域の魅力を全国に発信し、地域の文化振興にお役立ていただければ幸いです。

■募集対象の対局

第 47～49 期 棋聖戦 挑戦手合 七番勝負

(第 47 期の場合 ※第 48 期は 2024 年、第 49 期は 2025 年の同時期)

第1局： 2023 年 1 月中旬	第2局： 2023 年 1 月下旬
第3局： 2023 年 2 月上旬	第4局： 2023 年 2 月中旬
第5局： 2023 年 2 月下旬	第6局： 2023 年 3 月上旬
第7局： 2023 年 3 月中旬	

※開催時期はおおよその目安です。多少、前後することがあります。

※対局者のいずれか一方が 4 勝した時点で終了するため、第 5・6・7 局は、実施されないことがあります。なお、シリーズ終了により対局が行われない場合、会場や
宿舎への取消に伴う費用は主催者側では負担できません。

※すべての対局が応募団体の中から選考される訳ではありません。

○対局は、持ち時間 8 時間の 2 日制で行います。

○水曜・木曜または木曜・金曜の 2 日間に設定されるのが標準的な日程です。

○関連イベント等を行う場合、土日も含めた日程も可能です。

■応募資格・選考条件

- 最高位タイトル戦の対局開催にふさわしい対局会場、宿泊施設、イベント会場をご提供いただけること。
- 関連イベントを含めた運営要員・支援体制をご提供いただけること。
- 囲碁文化の普及振興にご理解をいただき、対局開催を積極的にご活用いただけること。
- 公共機関・民間団体・民間企業等の別を問いません。

■応募用紙送付先

〔郵送の場合〕

〒100-8055 東京都千代田区大手町 1-7-1

読売新聞東京本社 編集局[棋戦事務局]宛

〔電子メールの場合〕

igo@yomiuri.com

〔お問い合わせ〕

上記[棋戦事務局] TEL: 03-6739-6713 (平日 10:00-17:00)

■応募締め切り

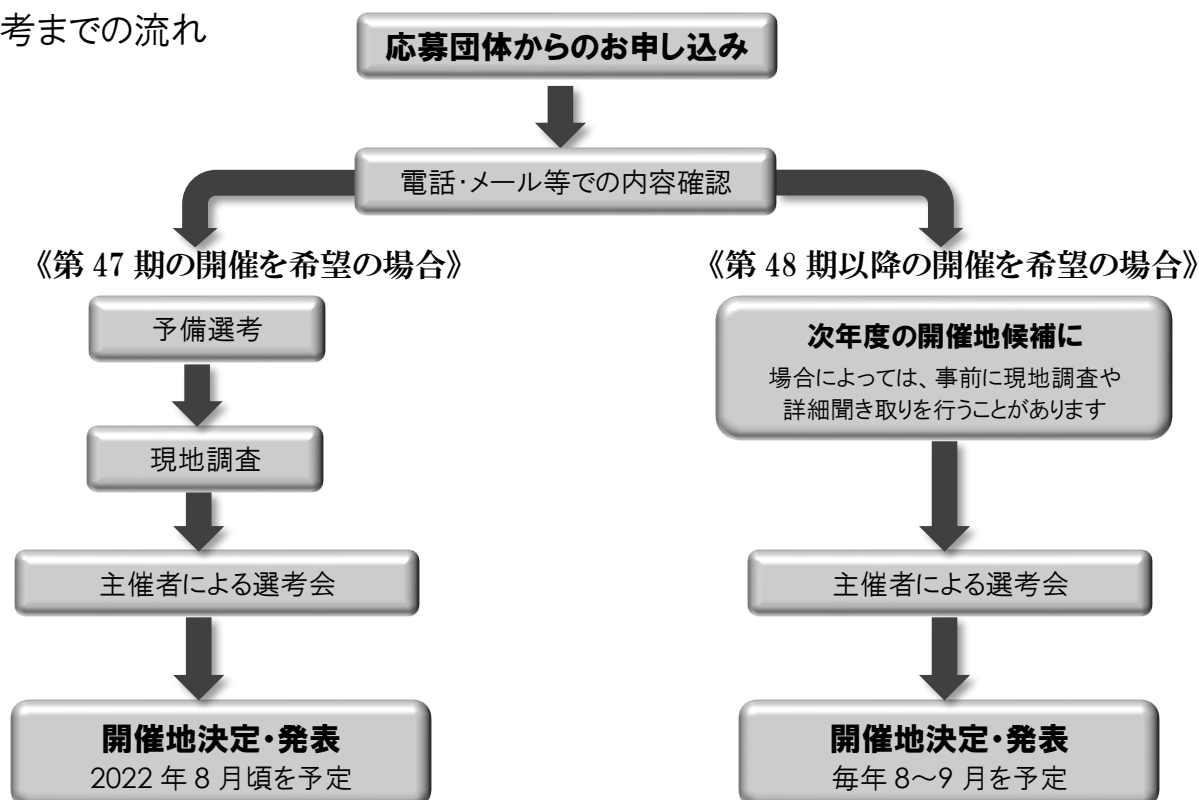
《第 47 期の開催地》

2022 年 5 月 31 日必着

《第 48 期以降の開催地》

随時受け付けます(最終締め切りは、当該開催年の 5～6 月の予定)

■選考までの流れ



■選考と発表

- 棋聖戦主催者の読売新聞社と日本棋院、関西棋院による選考を経て決定されます。
- 七番勝負すべての対局会場が、応募団体の中から選定される訳ではありません。
- 第 47 期棋聖戦七番勝負の開催地は、2022 年 8 月頃に、読売新聞紙上および日本棋院公式HP等において発表されます。開催地決定団体には、事前に通知し、最終確認を行います。
- 開催地選定の理由や、選外開催地の発表は行いません。

対局開催地にご用意いただきたいこと

それぞれの準備事項にかかる経費負担については、[次ページをご参照](#)下さい。

①対局会場

- 最高位タイトル戦にふさわしい対局会場をご提供下さい。
- 格式ある宿泊施設、歴史的建造物や文化財、地域のランドマークとなる施設などが想定されますが、要件を満たせば、様々な形態の施設でも開催は可能です。詳しくは事務局までご相談下さい。
- 施設の要件詳細は、7 ページをご参照下さい。

②宿泊施設

- 対局会場内または近隣に、対局関係者が滞在する宿泊施設をご用意下さい。
- 標準的な場合で、宿泊者数は下記の通りです。

・対局者(棋聖・挑戦者)	2 名	
・立会人(棋士)	1 名	
・解説者(棋士)	1 名	
・記録係(棋士)	2 名	
・大盤解説者・聞き手(棋士)	2 名	(大盤解説会を実施する場合)
・日本棋院/関西棋院 役員および職員	2 名	
・ネット中継スタッフ	3 名	
・主催新聞社 記者およびスタッフ	7 名	計 20 名

- 対局前日、対局初日、対局最終日の 3 泊 4 日(1 泊目の夕食から出発日の朝食まで 8 食)の滞在です。
- 特に、対局者を含めたプロ棋士(8 名程度)は、一定グレードの客室をご用意下さい。
- 棋士を含めて、関係者の滞在は原則として個室をご用意下さい。
- 宿泊施設の要件詳細は、10 ページをご参照下さい。
- この他に、中継配信局、囲碁専門誌等のメディア関係者が同日程で開催都市に滞在することが見込まれます。
基本的に各社の自主手配となりますが、宿泊施設の確保が難しい開催地の場合は、応募団体に一定の室数の確保・斡旋をお願いする場合があります。

③関係者移動

- 上記関係者の東京(一部の棋士は、関西など他の地域発)から開催地までの移動手段をご手配下さい。
- 対局者を含めたプロ棋士の移動は、JR 特急の場合グリーン車、航空機移動の場合は JAL 便に限り class J シートにてご手配下さい。
- 座席指定による鉄道移動が難しい区間については、チャーターバスをご用意いただく場合もあります。

④関連イベントの会場および運営

- 対局に伴って、《前夜祭》《大盤解説会》《交流イベント》等の関連イベントを実施することが可能です。
- 開催を希望される場合は、それぞれの会場確保、参加者募集、当日の受付管理体制などをご用意下さい。
- 各イベントに出演する棋士の出演謝礼をご負担下さい。
- 各イベントの詳細要件は、5・6・9・10 ページをご参照下さい。

経費的なご負担について

棋聖戦開催地招致に際して、七番勝負の実施運営には多くの経費が必要です。このため、開催地に会場費や関係者宿泊費、関係者移動交通費、イベント運営費について、経費負担をお願いしております。行政の協力(周年事業として予算計上)を得て実行委員会方式で運営する形もあります。

ご応募に当たって、開催地でどの程度の経費負担を負っていただけるか、概算を応募用紙の所定欄にご記入いただければ、選考上の参考とさせていただきます。

また、自治体予算の活用などで、応募時点で拠出額が確定できない等の場合は、おおよその見通しをご記入いただければ幸いです。詳細は個別に事務局にご相談下さい。

【ご参考】対局開催にかかる主要な経費(モデル・ケース)

※1対局を開催するのに必要な主な経費の例です。ここに挙げるすべてが必ずしも開催地の負担となるわけではなく、開催地のご負担能力に応じて、主催者と協議の上、経費分担を調整させていただくことになります。

項 目	摘 要	概算金額	備 考
関係者交通費	東京⇄開催地の標準的旅費×18人		棋士8人はグリーン車
関係者宿泊費	20人×3泊(2食)×想定宿舍の宿泊単価		対局者は上位クラスの部屋
会場費	対局室・控室・本部控室		
関係者食事費	【対局前日】夕食20人(前夜祭がある場合は別計上。ただし対局者他6人程度の別食が必要) 【対局初日】朝食20・昼食22・夕食20人 【対局2日目】朝食20・昼食27・夕食32人 【対局者用】茶菓2×2日、昼食2×2日 【本部控室】湯茶接遇		
前夜祭経費	会場費・料飲費・司会料・花束記念品費 その他要員費 など		前夜祭を実施する場合
大盤解説会経費	会場費・棋士謝金・音響費・備品使用料 賞品費・その他要員費 など		大盤解説会を実施する場合
イベント経費	会場費・棋士謝金・移動費・音響費・備品使用料 昼食代・賞品サイン会用品費・その他要員費		イベントを実施する場合
広報費・印刷費	ポスター・チラシ等印刷費・広報費 など		
その他	事前会議費・備品等購入費・事務費 など		

★棋聖戦は、対局者のいずれか一方が4勝した時点で終了します。このため、第5局・第6局・第7局は実施されない場合があります。4勝決着により対局が開催されない場合、キャンセルに必要な費用は主催者側では負担できませんので、ご了承下さい。

対局に合わせて実施できること

①前夜祭

- 対局前日の夕食を、《歓迎前夜祭》とすることが可能です。
- この場合、対局招致団体等が「前夜祭主催者」となります。
- 対局関係者、地元関係者のほか、一般参加者を募ることも可能です。この場合、参加料の徴収有無や料金設定は、前夜祭主催者にお任せします。
- 両対局者やプロ棋士らと交流する貴重な機会となります。
- 両対局者は、翌日の対局に備え、途中退席するのが一般的な進行です。この場合、対局者＋数名の夕食を別室にご用意いただくことがあります。

【標準的な前夜祭の式次第(例)】

- | | |
|-------------|-------------------|
| ・前夜祭主催者あいさつ | 誘致団体の代表者 |
| ・対局主催者あいさつ | 読売新聞の代表者／日本棋院の代表者 |
| ・歓迎挨拶／乾杯 等 | 地元関係団体の代表者等 |
| ～ 歓 談 ～ | |
| ・参加棋士紹介 | 両対局者・立会人・記録・解説者等 |
| ・花束・記念品等の贈呈 | 地元の代表から両対局者へ |
| ・両対局者あいさつ | 棋聖／挑戦者（あいさつ後、退席） |
| ・立会人の見どころ解説 | 立会人ほか |
| ・中締め | 地元関係者 |



②初手立ち会い

- 対局初日および 2 日目の対局開始(午前 9 時)時に、限られた人数ですが、対局室(または隣接部屋)に入室し、両対局者の初手に立ち会うことが可能です。
- 開催地誘致団体の代表者 1 名は、碁盤向こう正面の記録机に着座し、お立ち会いいただけます。
- 対局室の間取りによって参加人数は変わりますが、対局室の続きの間がある場合で、4～10 名程度が初手に立ち会うことが可能です。



③大盤解説会

- 大型の碁盤ボードを使って、プロ棋士が対局の進行状況や勝敗の行方、ポイントなどを丁寧に解説します。
- 大盤解説担当のプロ棋士と、聞き手の女流棋士による進行を基本としますが、対局の進行状況に応じて、立会人やゲスト解説者も登壇し、にぎやかに進められます。
- 対局初日の午後～封じ手まで＋対局２日目の午前～終局までの日程で行われるのが一般的ですが、２日目のみ行うケースもあります。
- 解説会の中で、対局者の次の指し手を予想する《次の一手クイズ》を行い、当選者には抽選で対局者や出演棋士のサイン色紙や記念扇子などをプレゼントし、好評を得ています。
- 大盤解説会の実施を希望される場合、開催地サイドには、会場の提供、参加者の募集・受付、当日の来場者管理（受付・参加料収受・場内案内）等をお願いします。また、解説と聞き手を担当する棋士への出演謝礼をご負担下さい。
- 大盤ボード、映像モニター、イベント進行に必要な備品等は、主催者側で用意します（備品の送料はご負担下さい）。
- 多目的ホールなど、200人以上を収容する大型会場で実施する場合は、大盤ボードではなく、大型映写スクリーン等を使って解説を進行することも可能です。この場合の機材は、開催地サイドでご用意下さい。また、画面上での駒操作を担当する専門のオペレーターが必要になります。スタッフの派遣経費（旅費・宿泊費・日当）は、開催地にてご負担をお願いします。



④交流イベント

- 対局に帯同するプロ棋士による、囲碁普及を目的とした交流イベントを実施することが可能です。
- 対局翌日に、対局会場または近隣施設にて行うのが一般的です。（対局が木・金曜の場合は土曜日の開催）
- イベント内容は_____

①プロ棋士による囲碁入門教室（こども向け・親子向け・初心者向け）

②プロ棋士による指導碁（多面打ち）

③プロ棋士によるチャリティー・サイン会（色紙・扇子など）

……参加料有料として、売上を震災復興支援などのチャリティーに充てるのが一般的です。

このほかにも、囲碁大会、トークイベントなどを実施するケースもあります。詳細はご相談下さい。

- 開催地サイドで、会場・運営スタッフ・受付管理・講師謝礼・昼食・湯茶接遇等をご用意いただきます。碁盤碁石、大盤等は、主催者側で手配可能です（送料等の経費は現地でご負担下さい）。



会場の要件

①対局室

棋聖戦七番勝負の対局は、囲碁界最高位タイトル戦に相応しい格式と環境を備えた施設で行われます。畳敷き・床の間付きの日本間で行われることが多いですが、洋間・会議室・宴会場等の施設でも実施可能です。また、文化財や歴史的建造物、その他の公共施設でも、下記の要件を満たせば、実施を検討することができます。

【施設要件】

- 対局スペースとして 10～12 畳(約 13～15 m²)、付帯スペースとして 8～10 畳(約 10～13 m²)程度の広さがあること。ひと間続きで 18～20 畳(約 23～25 m²)程度の部屋の場合は、パーティション(衝立・屏風・可動壁等)で適宜、対局スペースを区切れること。
- 基盤を設置する場所の床面から天井まで 2.4m 以上の高さがあること。
- 対局および放送中継に十分な照度(200～300 ルクス程度)が確保できること。場合によっては、仮設の照明設備を敷設できること。
- 温度調節が可能な空調設備があること。または、仮設の暖房器具を敷設して、十分な暖をとれること。
- 可能な限り静寂が保たれること。(防音環境が整っているなど)
- 対局スペースと別に、中継カメラを設置するための隣接スペース(次の間・縁側・通路等)があること。
- 封じ手をするための別室等が隣接してあること。
- 対局者専用のトイレ、洗面所が至近距離にあること。
- 両対局者の控室(対局前後および昼食休憩時に使用。6 畳以上)2 室が確保できること。ただし、対局室が宿泊施設内にある場合は、両対局者の滞在部屋が控室となるため、不要。
- 中継カメラ(盤面上の天井カメラと、対局者側面の正面カメラの 2 台)を設置できること。特に、天井カメラ(小型)は、天井照明器具や飾り棧等に取り付けるか、できない場合は仮設のやぐら木組みを組み立てられること。
- 電源(通常の 100V 家庭用電源で十分)が複数個、確保できること。
- 本部控室(別記)との間に中継用ケーブルを敷設できること。
- 窓があり、外景を眺望できることが望ましい。その場合、カーテン・障子等で外光を調節できること。

【日本間の場合】

- 床の間付きの畳敷きが望ましい。

【洋間(居室・寝室等)または会議室等の場合】

- 仮設で畳敷きスペースを造作できることが望ましいが、カーペット敷きの間でも可能。ただし、部屋常設の家具・調度(ベッドやテーブル等)は撤去できること。

【運用要件】

- 対局前日、対局初日、2 日目の終日、使用可能であること。対局翌日午前に撤去作業が入る場合もある。特に、対局 2 日目は終局時間の制限がないため、終局から撤去完了まで深夜に及ぶこともある。
- 対局室では茶菓、対局者控室では昼食の提供が行われるため、室内での飲食が可能であること。
- 対局室の施設管理者と常に連絡が取れ、空調・照明・備品管理等について、対応可能な状況であること。
- 対局者への茶菓提供(対局開始前・昼休憩明け・午後 3 時)のための接遇態勢および要員が整っていること。また、対局者の食事・茶菓のリクエストにある程度、対応できること。

■標準的な対局室の例

●日本間の場合

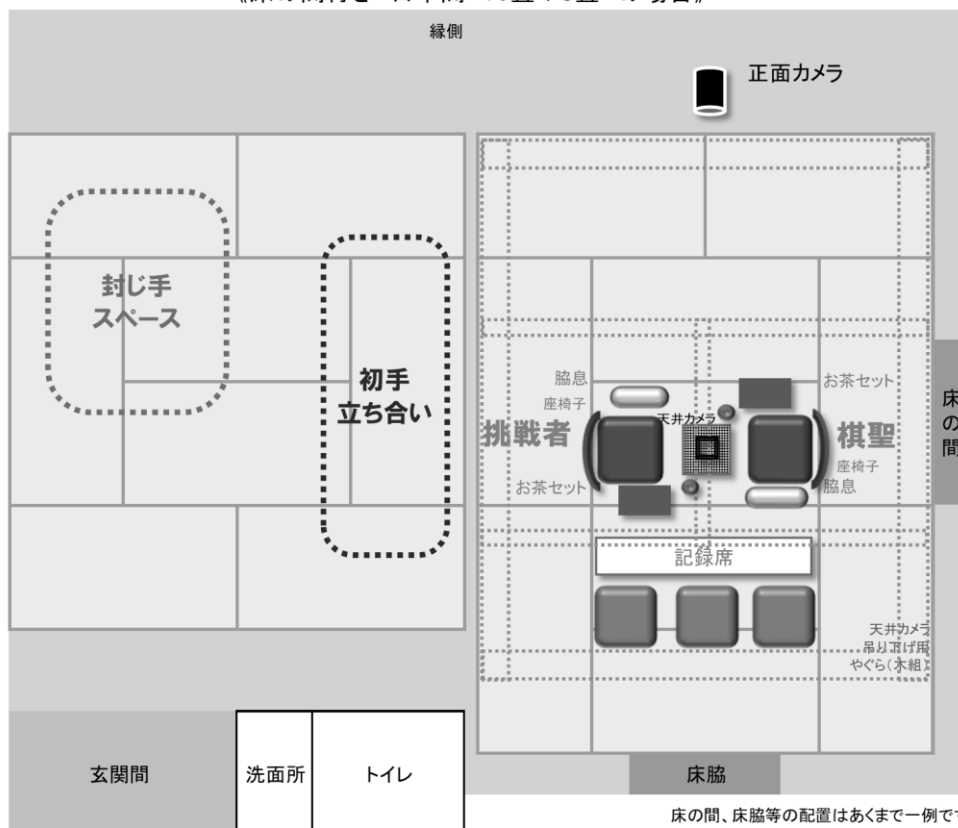


●ホテルの洋間客室に 畳敷き対局場を仮設 した例



棋聖戦 標準的な対局室の例

《床の間付き 日本間 10畳+8畳 の場合》



●対局者の位置関係や向きは、部屋の間取りにより異なります。

②本部控室

〔施設要件〕

- 最低 20 畳(約 30 m²)以上の広さがあること。
- 日本間、洋間(居室または会議室等)のいずれでも可。
- 対局関係棋士(立会人・解説者等)、読売新聞および中継各局、専門誌の記者・スタッフなど 20 人程度が作業できる机スペースと備品(日本間の場合はふみ机と座布団、洋間の場合は会議テーブルと椅子など)があること。
- 対局室と至便に行き来できること。ただし、直に対局室に隣接していないことが望ましい(防音のため)。
- 無線 Wi-Fi 環境またはインターネット用の臨時回線が敷設できること。(敷設工事は、主催者からNTT等へ手配しますが、建物への敷設が可能であること)
- テレビモニター2～6 台、ファクス 1 台、パソコン 10 台程度を設置・使用できること(電源容量・設置場所の確保)。モニターのご用意をお願いします。
- 本部控室の中継機材から、対局室と大盤解説会場へケーブルを敷設できること。
- 対局関係者が外部一般から独立して使用できるトイレ・洗面所があること。



〔運用要件〕

- 対局前日(中継機材・通信機器の設置／取材)と対局初日・2 日目の終日、使用可能であること。対局翌日午前に撤去作業が入る場合もある。取材・送稿・配信・撤去の作業は深夜に及ぶことがある。
- 部屋の施設管理者と常に連絡が取れ、空調・照明・備品管理等について、対応可能な状況であること。
- 関係者へのお茶・コーヒー・茶菓等の提供が可能であること。
- 控室の周辺で、関係者が昼食をとれること。

③大盤解説会場

〔施設要件〕

- 来場者の見込み人数に応じて、50～200 人程度収容の会議室・宴会場などが適当。
- 椅子席スタイル、座布団スタイル、いずれの形式でも設定可能。
- 本部控室と同じ建物内の場合は、控室から映像モニター用のケーブルが敷設可能であること。
- 対局場・本部控室と別の建物の場合は、インターネット回線の敷設が可能であること。
- 対局場・本部控室と別の建物の場合は、解説者の控えスペースがあること。
- 解説用の大盤、イベント進行上の備品類は、主催者側で用意可能。映像モニターのご用意はなるべくお願いします。

〔運用要件〕

- 対局 2 日目は、原則として終局まで行うため、解説会が夜間に及ぶ可能性あり。終日の使用が可能であること。
- 来場者管理(受付・参加料徴収)等は、開催地サイドで対応可能であること。

④交流イベント会場

〔施設要件〕

- イベントの実施内容、参加者数見込みに応じて、50～200 人程度を収容できること。
- 会議室・宴会場・イベントホールなどが望ましいが、施設側に問題がなければ、ホテルのロビーなどオープンスペースでも実施可能。
- 長テーブル 20～30 本、椅子 50 脚～、ホワイトボード数枚などの備品を用意できること。
- 講師用の休憩スペース(会議室等)を確保できること。

〔運用要件〕

- 来場者管理(受付・参加料徴収・参加者整理・案内)等は、開催地サイドで対応可能であること。
- 正午にかかるイベントの場合は、講師・スタッフ用の昼食(弁当)を提供可能であること。

⑤宿泊施設

〔施設・運用要件〕

- 棋聖・挑戦者を含む対局関係者が滞在するのに適した施設・環境・接客態勢を有すること。
- 対局関係者約 20 人が、原則としてシングルユースで滞在できる部屋数を有すること。
- 対局関係者が、朝昼夕食を同時にとることができる食事会場があること。特に昼食時は短時間にすべての関係者が食事できること(対局場が宿泊施設内にある場合)。
- 両対局者(棋聖・挑戦者)用に、自室にて指定の時間に朝食・昼食*を提供できること(*昼食は、対局場が宿泊施設内にある場合)。
- 対局者が和装(羽織袴)着付を希望する場合、対応可能であること(外部手配可＝経費は主催者負担)。
- 対局 2 日目は対局が夜間に及ぶ可能性があるため、夜間の関係者夕食の提供が可能であること。



●過去に対局会場・宿舎となった施設の一例です

対局4日間の標準的なスケジュール

対局前日(水)	対局初日(木)	対局2日目(金)	対局翌日
午前 対局室設営	7:30 朝食	7:30 朝食	7:30 朝食
	9:00 対局開始(初手立会)	9:00 対局再開(開封)	帰京組・イベント組出発
		10:30 大盤解説会②	10:30 交流イベント開始
	12:00 昼食休憩	12:00 昼食休憩	昼食
15:00 頃 宿舍到着 17:30 対局室 検分	13:00 対局再開	13:00 対局再開	15:00 イベント終了 16:00 関係者帰京
	14:00 大盤解説会①	14:00 大盤解説会③	
	15:00 対局者に茶菓提供	15:00 対局者に茶菓提供	
	17:30 対局終了(封じ手)		
18:00 前夜祭		--:-- 終局 感想戦・取材	
(19:00 対局者別室食事)	18:30 夕食 (棋聖/挑戦者 2組に分割)	--:-- 関係者夕食会 対局室・諸室撤収	

●標準的な対局期間中のスケジュールです。会場によって変動します。

過去7年の七番勝負対局会場

上=棋聖/下=挑戦者	第1局	第2局	第3局	第4局	第5局	第6局	第7局
第46期 2022 ○一力 遼 4 ●井山裕太 3	1/13-14 東京・文京区 ホテル椿山荘 東京	1/21-22 千葉・勝浦市 三日月シーパーク 勝浦ホテル	2/4-5 長崎・西海市 オリーブベイ ホテル	2/18-19 山梨・甲府市 常磐ホテル	3/3-4 神奈川・箱根町 ホテル花月園	3/10-11 神奈川・箱根町 ホテル花月園	3/17-18 京都・京都市 総本山仁和寺
第45期 2021 ○井山裕太 4 ●河野 臨 1	1/13-14 東京・文京区 ホテル椿山荘 東京	1/22-23 富山・高岡市 勝興寺	2/5-6 長崎・西海市 オリーブベイ ホテル	2/16-17 神奈川・箱根町 ホテル花月園	3/4-5 新潟・南魚沼市 ryugon	3/15-16 山梨・甲府市 常磐ホテル	3/18-19 山梨・甲府市 常磐ホテル
第44期 2020 ○井山裕太 4 ●河野 臨 2	1/9-10 東京・文京区 ホテル椿山荘 東京	1/20-21 埼玉・川越市 蓮馨寺	2/1-2 長崎・西海市 オリーブベイ ホテル	2/14-15 福岡・大宰府 九州国立 博物館	2/26-27 神奈川・箱根町 ホテル花月園	3/5-6 山梨・甲府市 常磐ホテル	3/12-13 新潟・南魚沼市 ryugon
第43期 2019 ○井山裕太 4 ●山下敬吾 3	1/10-11 東京・文京区 ホテル椿山荘 東京	1/21-22 鳥取・境港市 夢みなとタワー	2/2-3 長崎・西海市 オリーブベイ ホテル	2/13-14 埼玉・川口市 旧田中家住宅	2/27-28 山梨・甲府市 常磐ホテル	3/7-8 神奈川・箱根町 ホテル花月園	3/14-15 新潟・南魚沼市 温泉御宿龍言
第42期 2018 ○井山裕太 4 ●一力 遼 0	1/18-19 東京・文京区 ホテル椿山荘 東京	1/25-26 青森・八戸市 八戸パーク ホテル	1/31-2/1 長崎・西海市 オリーブベイ ホテル	2/15-16 岩手・大船渡市 大船渡市民 文化会館	2/22-23 神奈川・箱根町 ホテル花月園	3/8-9 新潟・南魚沼市 温泉御宿 龍言	3/14-15 静岡・伊豆市 玉樟園新井
第41期 2017 ○井山裕太 4 ●河野 臨 2	1/14-15 島根・安来市 さぎの湯温泉 さぎの湯荘	1/22-23 熊本・菊池市 菊池温泉 菊池笹乃家	2/8-9 埼玉・川越市 料亭山屋	2/15-16 静岡・伊豆市 玉樟園新井	3/1-2 山梨・甲府市 常磐ホテル	3/9-10 新潟・南魚沼市 六日町温泉 温泉御宿 龍言	3/15-16 神奈川・箱根町 ホテル 花月園
第40期 2016 ○井山裕太 4 ●山下敬吾 0	1/14-15 福島・会津若松市 東山温泉 今昔亭	1/28-29 鳥取・湯梨浜町 はわい温泉 望湖楼	2/1-2 鳥取・米子市 皆生温泉 華水亭	2/17-18 北海道・帯広市 北海道ホテル	2/24-25 静岡・熱海市 熱海後楽園 ホテル	3/10-11 新潟・南魚沼市 六日町温泉 温泉御宿 龍言	3/16-17 山梨・甲府市 常磐ホテル

○防衛 ●敗退 ◎奪冠 ▼失冠 ※氏名の右の数字は勝利数 ※網がけの対局は、4勝決着により開催されず

(2022年3月現在)